

偕楽園復興の2年

とも
たの
偕
に
樂
し
む

第10号
偕楽園公園を
愛する市民の会

偕楽園・弘道館復興支援の会を立ち上げ



平成二十三年の総会を準備する役員会の際、東日本大震災で被災した偕楽園と弘道館の復興に向けて本会でも何かする必要があるのではないかと意見が出され、役員の有志が検討し、復興募金をよびかけることになりました。国や県の復興への取り組みがあるものの文化財の復興は遅れるのではないかとの懸念があり、そこを補うのが市民の活動であると考えたからです。

総会の翌日四月二十八日に五〇以上の団体の参加を得て偕楽園・弘道館復興支援の会の発起人会が開催され、和田会長・湊副会長がそれぞれ会長・副会長に就任し、事務局にも本会役員が加わりました。

偕楽園全面復旧記念式典

平成二十四年二月九日、偕楽園全面復旧記念式典が茨城県主催で挙行されました。折からの水雨の中、好文亭入口前の広場にテントを張り、多くの関係団体・市民団体から多数の参加者がありました。主催者として橋本昌茨城県知事が、偕楽園復旧の取組みの経過を報告し、「水戸の梅まつり」を前に偕楽園を全面再開することがで



復興支援の会和田会長挨拶

「偕楽園・弘道館」は、このたびの大震災によつて大きく損壊しました。一刻も早く復興したいという沢山の方々の声をお聞きし、昨年四月中旬に「偕楽園・弘道館復興支援の会」を立ち上げました。十一ヶ月経過した平成

式は来賓紹介の後、テープカットで閉会しました。

その後参会者は復旧なつた好文亭の披露に参加しました。復旧工事に参加した県職員が要所で復旧の内容や問題点などを説明し、参加者から感想や希望を述べるなど、有意義に視察することができました。ひびが残つている箇所と修復したところが微妙に対比され見事に修復されたことに関心させられます。とはいって、廊下の床板の張り替えなど新築のよ

うな装いにやや戸惑うところもありました。弘道館は国の特別史跡であるため、修復には慎重な手順が踏まれました。比較的修復が容易な築地塀の復旧が二十四年末に終わり、県に要望書をお渡しました。

橋本県知事 次いで、来賓の高橋靖水戸市長、磯崎久喜雄茨城県議会議長に統いて、復興支援の会々長として、和田祐あい介会長が募金活動への取り組みと達成を述べるあいさつをしました。

二十四年二月七日時点で、日本各地から推定一万二千人を超えるご協力を頂き、募金額も一億四千万円に到達いたしました。皆様の熱い復興の思いを感じ、感謝にたえません。募金の内から茨城県に一月六日付で九二五四万円余を振り込み、偕楽園の復興に使つて頂き、残りの約五千万円は四月以降、弘道館復興に使用予定です。また、皆様から寄せられた復興の要望をまとめ一月二十七日、県に要望書をお渡しました。

弘道館の復旧と偕楽園の新施設

弘道館は国の特別史跡であるため、修復は慎重な手順が踏まれました。比較的修復が容易な築地塀の復旧が二十四年末に終わり、二十五年二月には孔子廟本殿の復旧が完了し、特別公開されました。二十五年一月から

年の三月までには復旧が完了する予定です。

偕楽園では、本園内東門脇の旧東門売店「見晴亭」の跡地に「偕楽園インフォメーションセンター（仮称）」が来年一月完成に向けて建設することが決まりました。この施設は、床面積一六〇m²の木造平屋建てで、観光案内や休憩、救護などに使われる予定で、ボランティアガイドや関係者から要望が強く、復興



新設される「偕楽園インフォメーションセンター」支援の会の要望にもあつた施設です。偕楽園の通年観光や非常時の対応の拠点としての機能をも果たすことになります。復興支援募金の残額が建設資金の一部に充てられました。

日本ユネスコ協会「第4回。プロジェクト未来遺産」に登録

法人日本エヌコ協会連盟から当会の「水戸の歴史資産」偕楽園と弘道館の魅力を子どもたちに伝える活動「第4回プロジェクト未来遺産」に登録することが発表されました。



伝えるための運動」です。また、プロジェクト未来遺産は「長い歴史を超えて人々が紡ぎ続けてきた文化遺産や自然とともに生きる知恵や工夫の中でつくりあげてきた自然遺産という豊かな贈り物に光を当てそれらを未来に伝えていこうという人々の意欲を活性化させることによつて時代を切り拓いていこうとする」ものです。（詳細は日本ユネスコ協会連盟のホームページ <http://www.yuna.or.jp>

登録証の伝達
清峰教育長
および水戸
ユネスコ協
会宇佐見恵
子会長から
お祝いのご
挨拶をいた

登録証伝達式

平成二十五年三月二日、水戸市総合教育研究所三階視聴覚ホールで日本ユネスコ協会連盟の主催により「第4回プロジェクト未来遺産」の登録証伝達式が開催されました。

水戸市教育委員会の推薦をいただいて、本会は「弘道館親と子の論語塾」と『偕楽園なんでも百科』の刊行と普及活動を中心にプロジェクトに応募しました。登録されることによって会の活動をおおぜいの人々に知つていただき、賛同者が増えるだけでなく、偕楽園・弘道館の世界遺産登録へ市民の支持と熱意を示すことになると考へたからです。

水戸の歴史資産「偕楽園と弘道館」の魅力を子供たちに伝える活動

水戸市では偕楽園と弘道館を世界遺産に登録する運動を進めていました。今回の当会が認められたプロジェクト未来遺産への登録は、これと直接つながるものではありません。しかし、当会の活動を「水戸の歴史資産・偕楽園と弘道館」の魅力を子どもたちに伝える活動」として、同じユネスコに属する民間組織から認められたことが、水戸市の世界遺産登録運動を市民団体が側面から応援することになります。今後当会の行事で偕楽園と弘道館の世界遺産登録を支援していくうと思います。



「みとちゃん」タ」「みと
かけつけ」が、
和田会長か



親子工作教室

（小菅次男副会長）「偕楽園公園の親子植物観察」（木村義明理事）、「偕楽園と千波湖の今・昔」（千波湖が残っているわけ）（大槻功副会長）、「梅と桜のなんでも百科」（宮嶋敬夫顧問）、「偕楽園被災から復旧」（現地案内）（根本涉茨城県偕楽園公園センター職員）のワークショップが開かれました。



好文亭模型

また、「広報みと」

「偕楽園なんでも百科」
好評で増刷、展示会

こんな本が欲しかった

東日本大震災で
偕楽園と弘道館が被災し、見学できない
ないという不利な状況でしたが、多く
の人から「偕楽園の全体像と魅力
を広く伝えてくれる今までにない偕
楽園の案内書」として歓迎され、受け
入れられました。

この評判を受け、常陽銀行から支
援を受けて二十五年三月に一〇〇〇
冊の増刷を行いました。うち六〇〇
冊は水戸市に寄贈して各学校に配布
します。



授業の教材・講習のテキストに



偕楽園公園センター

平成二十三年展示会

『偕楽園なんでも百科』は平成二十三年四月に三〇〇〇冊を発行しました。うち七五〇冊を水戸市に贈呈し、市内の全小学校に二〇冊ずつ、図書館や市民センターなどにも数冊ずつ配布しました。また、資料提供者と水戸市内で観光や教育・文化に携わっている関係機関・団体などにも配布して活用されるようお願い申し、残部を、会員や活用を望まれる方に印刷実費（五〇〇円）で配布しました。

科の郷土学習、道徳の一斎昭の梅の学習、総合学習などで、授業の参考になつたという声があがつていきました。貸出教材用として一〇〇冊を用意し、実際の授業の参考に使用されたり、市民観光ボランティア「歴史アドバイザー水戸」が出前授業で使⽤することも行われています。

江戸千家、石州流(遠州流、表千家(実施日順)の茶の湯を来客にふるまつていただきました。点茶の指導もあり、好文亭を支える茶の心を偲びました。



「茶の湯を楽しもう!」

姿、多様な魅力に触れて驚いていましたが、中でも偕楽園をよく知っている人の「これは初めて知った」という言葉はうれしく思いました。ワークショップ「茶の湯を楽しも

A photograph showing a woman and a child from behind, looking at a series of panels displayed on stands. The panels appear to contain text and small images. The woman is wearing a dark coat and the child is wearing a light-colored jacket.

平成二十三年は九月二十一日、十月二日の二週間開催しました。常磐大学水嶋英治教授の協力で布に印

として、平成八年に丸山の隣に新築され、偕楽園公園全体の管理事務所と展示室のほか梅と緑の相談室、講習会場、ミニ図書館があります。堂々とした和風の建物で、目立たない場所にあつてあまり知られていないのが残念です。

さらに、土日祝日の午前か
午後の一時間三〇分（一時間に次の
ワークショップを行いました。

- ・「偕楽園を歩いて楽しもう」（市民
観光ボランティア「歴史アドバイ
ザー水戸」）

から、児童はあまり多くありませんでした。見学者は、茶の湯の参加者、周辺を散策する人や、桜川駐車場から通りかかる人が主で、全体で約五四〇名でした。

平成二十四年展示会

平成二十四年九月四日（十七日）の二週間、前年と同じ偕楽園公園センターで「偕楽園開園一七〇年記念——偕楽園の復旧を記念して」と題し

で展示会を行ないました
展示は「偕楽園なんでも百科」の
パネルと偕楽園の復旧事業パネル。

「弘道館 論語塾」 の二年

弘道館の被災で会場を変更

A photograph showing a group of approximately 15-20 people in a room. Some individuals are seated at tables in the foreground, while others are standing or walking around in the background near a whiteboard and a projection screen. The room appears to be a formal setting for a meeting or a presentation.

二期目の語彙熟

語塾は、会場の弘道館が使用できなくなり、看板としていた弘道館での開催ができなくなりましたが、こういう時こそ学びを着実に継続することができ、「論語」の教えにかなうと考え、講師の安岡先生とも相談の上、場所を移して継続することにしました。震災により多くの公営の施設が使用できないなか、幸いにも茨城県青少年会館をほぼ通年借用できるめどがつき、四月は休みましたが、五月に開講しました。

四期目の論語孰

議室を使うことができました。

いつもの諭語塾の流れ

A black and white photograph showing a group of approximately ten people in a room. Some are seated at a long table, while others stand around it. They appear to be engaged in a discussion or activity. The room has plain walls and a door in the background.

受講生アンケートと懇談会

最後に、子どもたちの合図に合わせて終わりの礼をします。

その後が子どもの出番です。先生の呼びかけで希望する子どもが前に出て、章を印刷したカードが用意され、子どもが自分で選んだカードを素読したり、カードなしで自分が好きな文章を一人で素読したり、子どもの先唱でみんなが続いたりします。「その二」や「その三」は長い文章が増えてしま

次に、先生が新しい章の素読と意味の解説をされます。それから先生に統いて素読。三期目の途中から、「親子で楽しむこども論語塾」その三に入りました。

ラジを見て」七と多様です（複数回答）。「NHKラジオで知った」という回答が複数ありました。

アンケートの回収は家族参加二〇、個人参加六の二六組で、「第四期目から参加」が一三と半分ですが、「最初からの参加」も五あります。た。参加動機は「論語」に興味があつたから」が一ですが、「友人知人に勧められて」九、「水戸市報マスコミ紙の広告を見て」八、「チ

四期目を迎える論語塾では、受講生の意向を知るため、九月と十月の受講生にアンケートを行い、十一月にその結果についての懇談会を行いました。

受講生アンケートと懇談会

きつかけになつてゐる。」との感想もありました。

うように、思わぬところで論語を見つけ楽しむようになります』など
の声が寄せられ、また、「月に一回『論語』の言葉に接する、声に出して
読む」ということが、生き方を考える

についても日常生活に変化したこと
があればお書きください」の項目に
は、「文字への関心が増した」「声に
出して文章を読むことへの興味が増
した」「音読が上手になつた」「しつ
かりと声を出すことが出来るようにな
つた」「歴史に興味を持つようにな
つた」「これ本のにつていた!とい

「受講したことによりあなたやご家族の日常生活に変化したことがあればお聞かせください」と「お子様

この結果を受けた十一月の懇談会では先生から全体を通じての感想が述べられました。その中から「論語塾に臨む気持ち」を紹介します。

が、「辞は達するのみ」「徳は孤ならず、必ず隣あり」「性、相近し。習い、相遠し」なども複数あり、受講生の多様さが見えます。全体として、学ぶことの大切さを述べている文章が多いようです

「論語」の好きな文章をお聞かせください」については、「故きを温ねて……」や「学びて思わざれば、即ち罔し。……」などよく知られている文章が多数上がっています

「うように、思わぬところで論語を見つけ楽しむようになりました」など
の声が寄せられ、また、「月に一回
『論語』の言葉に接する、声に出して
読む」ということが、生き方を考える
きっかけになつていて、との感想も
ありました。

についても日常生活に変化したこと
があればお書きください」の項目に
は、「文字への関心が増した」「声に
出して文章を読むことへの興味が増
した」「音読が上手になつた」「しつ
かりと声を出すことが出来るようにな
つた」「歴史に興味を持つようにな
つた」「これ本にのつていた!とい

「受講したことによりあなたやご家族の日常生活に変化したことがあるればお聞かせください」と「お子様

平成梅林 PPV 対策 で一部の苗木を処分

平成梅林整備事業は本会発足初年度の平成十九年に「失われつつある全国の梅の品種を収集保存し、偕楽園を品種が日本一の梅園にする」ための募金を呼びかけ、平成二十二年度末まで約九〇〇万円(助成金等を含む)の募金をいただきました。

偕楽園公園を管理する茨城県の協力を得て二十二年度までに四〇三品種の梅の苗木を集め好文橋下の苗畑で育ててきました。募金は苗木購入費と病害虫予防・駆除の薬剤散布、除草・剪定の委託経費に充て、巡視、観察、除草作業等を本会の会員・役員が手弁当で行なつてきました。

平成梅林のPPV感染

PPV(プラム・ポツクス・ウイルス)は「ウメ輪紋ウイルス」と訳され、欧・米・西アジアでモモ、スマモ、アンズといったサクラ属の果樹に感染し、果実が成熟前に落果するなどの被害を与える病気で、主としてアブラムシが媒介します。PPVに感染すると、葉にドーナツ状の輪ができる症状(輪紋)などが表れます。が、厳密にはウイルスの検査で確認します。

平成二十一年に国内で初のPPV感染木が確認されました。平成梅林

でも同年一品種三本の感染を発見、二十二年夏までに二品種五本に感染が確認されました。これらは直ちに伐採、焼却されました。苗穂採取元で感染が発見された二品種五八本も同年末にすべて処分されました。しかし二十三年にも三品種八本の感染が発見され、苗畑内の二次感染が危惧されました。二十四年六月十九日には農水省と県機関との合同調査で多数の感染木が発見され、その恐れは一層大きくなりました。

本会の対応

会では、県と連絡してアブラムシ防除の強化、感染苗木の発見と処分、移動禁止に備えて強めの剪定など厳重に対応してきました。

しかし、苗畑内での感染拡大の危険性が大きくなつたので平成二十四年四月の総会で「PPVの拡大を防ぐために平成梅林の現在の苗木をすべて伐採・抜根・焼却処分をすること」を要請する特別決議「平成梅林の苗木の処分について」を提案しました。

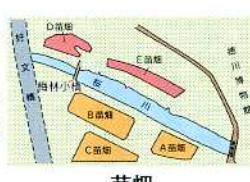
偕楽園の梅の魅力を高めるための事業から、本園へ感染したら、逆に歴史ある梅園と偕楽園の価値が失われるなどと思いつい、会員は断腸の思いで決議を承認しました。

平成梅林の現状と今後

この結果を受けて、茨城県は平成二十五年二月八日にB畑とD畑の全苗木約六〇〇本を処分しました。残ったのは、A畑(二十年度植栽)一一四本、E畑(二十一年度植栽)一〇〇本です。合計約二一四本が処分されることになり、そのうち偕楽園

発見されているB畑とD畑は処分する必要があるが、A畑とE畑はその必要はないのではないか。この二つについては県が責任を持つて管理したい」との意見が示されました。本も同年末にすべて処分されました。しかし二十三年にも三品種八本の感染が発見され、苗畑内の二次感染が危惧されました。二十四年六月十九日には農水省と県機関との合同調査で多数の感染木が発見され、その恐れは一層大きくなりました。

会では七月二十三日と八月二十七日の二回にわたって役員会を開きました。多数の市民からの賛同募金をいただき、期待も大きい平成梅林整備事業だけに多くの意見が出されました。が、次のように決定しました。



① B畑とD畑の苗木は処分し、A畑とE畑は県に移管するという県の方針を受諾する。

② 感染発見後三年間と定められており、観察期間が明けるまで苗木の収集を休止する。

③ 県に移管後も苗木の観察や育成およびB畑とD畑の手入れ作業等に協力する。

④ 観察期間中に、苗木の定植先と平成梅林整備事業の再開について検討する。

この結果を受けて、茨城県は平成二十五年二月八日にB畑とD畑の全苗木約六〇〇本を処分しました。残ったのは、A畑(二十年度植栽)一一四本、E畑(二十一年度植栽)一〇〇本です。合計約二一四本が処分されることになり、そのうち偕楽園に充てる予定です。



24年11月懇談会が、幸い、現場に行つてお子さんの顔を見られれば吹っ飛びます。どんなにいい内容を話してもその先生が楽しそうにしていなければ楽しさは伝わらないかと。お子さんには特に出番を多くすることと楽しんでいたな悩みや問題がないわけではないのです。自分が楽しくなかつたら相手にも絶対伝わらない、自分の気持ちが安定して、自分が楽しめるということに気を付けています。いろんな悩みや問題がないわけではありません。

大名庭園サミット

第六回彦根大会

平成二十三年十一月二十七日(土)二十八日に彦根市の「玄宮園」を舞台に「大名庭園の保存整備(池泉の整備)」をテーマに開かれました。(本会から二七名参加)

玄宮園は彦根城の陰に隠れて有名ではありませんが、琵琶湖の水を巧みに取り込んだ趣のある庭園です。大会とシンポジウムは彦根城博物館の能舞台で開かれました。その後案内された見学で、ライトアップされた紅葉が水に映る見事な玄宮園に息をのみました。

エクスカーションは、NHK大河ドラマ「江」のふるさと巡りが売りでした。



マスコットキャラクター「清盛くん」と記念写真

第七回広島大会

平成二十四年十一月十八日(土)十九日に広島の「縮景園」を対象に「大名庭園の環境整備(景観の保全)」をテーマに開かれました。(本会から一九名参加)

縮景園は原爆でほぼ壊滅し戦後再建された庭園ですが、名前の

通り、中国西湖の蘇堤を模した跨虹桥で有名です。

大会とシンポジウムは広島県立美術館の講堂で開かれましたが、二つの庭園に絞つて報告・討論されました。

エクスカーションのうち、NHK大河ドラマ「平清盛」の舞台宮島観光では紅葉を堪能しました。

なお、第六回大会で「NPO会津若松鶴ヶ城を守る会」、第七回大会で「福井城の復元をすすめる会」の加入が認められました。

今後の行事予定

行事予定は随時ホームページで案内します。

大名庭園サミット会津大会

会場：会津若松市 福島県立博物館(懇親会と宿泊は東山温泉)
・内容・エクスカーション等未定
・スケジュール・申込書等は左記にご請求ください。
・期日 八月二十日(火)
・場所 偕楽園公園センター
連絡担当：田嶋 啓三
Tel 〒312-0015 ひたちなか市小砂町
Fax ○二九一二七六一一九〇七

弘道館・親と子の論語塾

五期目を迎えますが、弘道館が使えませんので旧弘道館敷地内の茨城県三ノ丸庁舎(旧県庁)で行います。

・場所 茨城県水戸生涯学習センター大講座室(県三の丸庁舎三階)
・教室 十時三十分～十一時三十分
・講師 安岡定子氏

・開講日、毎月第一土曜日

・四月六日、五月四日、六月一日、七月六日、八月三日、九月七日、十月五日、十一月二日、十二月七日、

・一月四日、二月一日、三月一日、七月六日、八月三日、九月七日、十月五日、十一月二日、十二月七日、

・一月四日、二月一日、三月一日、七月六日、八月三日、九月七日、十月五日、十一月二日、十二月七日、

・一月四日、二月一日、三月一日、七月六日、八月三日、九月七日、十月五日、十一月二日、十二月七日、

・テキスト「子ども論語塾」その一・その二・その三(明治書院刊、税別一五〇〇円)

・対象 子供と保護者(子供は五歳以上が目安)、大人だけの参加も可

・募集人員 一〇〇名

・受講料 一家族一回一〇〇〇円(前後期それぞれ六千円一括納入)

・申込方法 本会事務所に資料を御求下さい。

・連絡担当 川上 清

・日程は変更の可能性あり。詳細は左記へお問い合わせください。

偕楽園を歩いて知る

健康維持を兼ねて、ウォーキングで偕楽園と親しみ・楽しみましょう。

・九月八日 偕楽園鈴虫ウォーク
・十二月一日 水戸の晩秋をめぐるウォーク
・一月六日 水戸初詣ウォーク
・二月二日 偕楽園を知るウォーク(二)
・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)

すべて日曜日午前中の予定。

・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)
・十二月一日 水戸の晩秋をめぐるウォーク
・一月六日 水戸初詣ウォーク
・二月二日 偕楽園を知るウォーク(二)
・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)

・すべて日曜日午前中の予定。

・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)
・十二月一日 水戸の晩秋をめぐるウォーク
・一月六日 水戸初詣ウォーク
・二月二日 偕楽園を知るウォーク(二)
・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)

・すべて日曜日午前中の予定。

・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)
・十二月一日 水戸の晩秋をめぐるウォーク
・一月六日 水戸初詣ウォーク
・二月二日 偕楽園を知るウォーク(二)
・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)

・すべて日曜日午前中の予定。

・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)
・十二月一日 水戸の晩秋をめぐるウォーク
・一月六日 水戸初詣ウォーク
・二月二日 偕楽園を知るウォーク(二)
・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)

・すべて日曜日午前中の予定。

・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)
・十二月一日 水戸の晩秋をめぐるウォーク
・一月六日 水戸初詣ウォーク
・二月二日 偕楽園を知るウォーク(二)
・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)

・すべて日曜日午前中の予定。

・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)
・十二月一日 水戸の晩秋をめぐるウォーク
・一月六日 水戸初詣ウォーク
・二月二日 偕楽園を知るウォーク(二)
・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)

・すべて日曜日午前中の予定。

・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)
・十二月一日 水戸の晩秋をめぐるウォーク
・一月六日 水戸初詣ウォーク
・二月二日 偕楽園を知るウォーク(二)
・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)

・すべて日曜日午前中の予定。

・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)
・十二月一日 水戸の晩秋をめぐるウォーク
・一月六日 水戸初詣ウォーク
・二月二日 偕楽園を知るウォーク(二)
・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)

・すべて日曜日午前中の予定。

・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)
・十二月一日 水戸の晩秋をめぐるウォーク
・一月六日 水戸初詣ウォーク
・二月二日 偕楽園を知るウォーク(二)
・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)

・すべて日曜日午前中の予定。

・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)
・十二月一日 水戸の晩秋をめぐるウォーク
・一月六日 水戸初詣ウォーク
・二月二日 偕楽園を知るウォーク(二)
・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)

・すべて日曜日午前中の予定。

・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)
・十二月一日 水戸の晩秋をめぐるウォーク
・一月六日 水戸初詣ウォーク
・二月二日 偕楽園を知るウォーク(二)
・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)

・すべて日曜日午前中の予定。

・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)
・十二月一日 水戸の晩秋をめぐるウォーク
・一月六日 水戸初詣ウォーク
・二月二日 偕楽園を知るウォーク(二)
・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)

・すべて日曜日午前中の予定。

・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)
・十二月一日 水戸の晩秋をめぐるウォーク
・一月六日 水戸初詣ウォーク
・二月二日 偕楽園を知るウォーク(二)
・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)

・すべて日曜日午前中の予定。

・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)
・十二月一日 水戸の晩秋をめぐるウォーク
・一月六日 水戸初詣ウォーク
・二月二日 偕楽園を知るウォーク(二)
・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)

・すべて日曜日午前中の予定。

・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)
・十二月一日 水戸の晩秋をめぐるウォーク
・一月六日 水戸初詣ウォーク
・二月二日 偕楽園を知るウォーク(二)
・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)

・すべて日曜日午前中の予定。

・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)
・十二月一日 水戸の晩秋をめぐるウォーク
・一月六日 水戸初詣ウォーク
・二月二日 偕楽園を知るウォーク(二)
・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)

・すべて日曜日午前中の予定。

・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)
・十二月一日 水戸の晩秋をめぐるウォーク
・一月六日 水戸初詣ウォーク
・二月二日 偕楽園を知るウォーク(二)
・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)

・すべて日曜日午前中の予定。

・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)
・十二月一日 水戸の晩秋をめぐるウォーク
・一月六日 水戸初詣ウォーク
・二月二日 偕楽園を知るウォーク(二)
・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)

・すべて日曜日午前中の予定。

・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)
・十二月一日 水戸の晩秋をめぐるウォーク
・一月六日 水戸初詣ウォーク
・二月二日 偕楽園を知るウォーク(二)
・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)

・すべて日曜日午前中の予定。

・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)
・十二月一日 水戸の晩秋をめぐるウォーク
・一月六日 水戸初詣ウォーク
・二月二日 偕楽園を知るウォーク(二)
・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)

・すべて日曜日午前中の予定。

・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)
・十二月一日 水戸の晩秋をめぐるウォーク
・一月六日 水戸初詣ウォーク
・二月二日 偕楽園を知るウォーク(二)
・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)

・すべて日曜日午前中の予定。

・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)
・十二月一日 水戸の晩秋をめぐるウォーク
・一月六日 水戸初詣ウォーク
・二月二日 偕楽園を知るウォーク(二)
・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)

・すべて日曜日午前中の予定。

・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)
・十二月一日 水戸の晩秋をめぐるウォーク
・一月六日 水戸初詣ウォーク
・二月二日 偕楽園を知るウォーク(二)
・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)

・すべて日曜日午前中の予定。

・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)
・十二月一日 水戸の晩秋をめぐるウォーク
・一月六日 水戸初詣ウォーク
・二月二日 偕楽園を知るウォーク(二)
・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)

・すべて日曜日午前中の予定。

・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)
・十二月一日 水戸の晩秋をめぐるウォーク
・一月六日 水戸初詣ウォーク
・二月二日 偕楽園を知るウォーク(二)
・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)

・すべて日曜日午前中の予定。

・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)
・十二月一日 水戸の晩秋をめぐるウォーク
・一月六日 水戸初詣ウォーク
・二月二日 偕楽園を知るウォーク(二)
・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)

・すべて日曜日午前中の予定。

・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)
・十二月一日 水戸の晩秋をめぐるウォーク
・一月六日 水戸初詣ウォーク
・二月二日 偕楽園を知るウォーク(二)
・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)

・すべて日曜日午前中の予定。

・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)
・十二月一日 水戸の晩秋をめぐるウォーク
・一月六日 水戸初詣ウォーク
・二月二日 偕楽園を知るウォーク(二)
・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)

・すべて日曜日午前中の予定。

・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)
・十二月一日 水戸の晩秋をめぐるウォーク
・一月六日 水戸初詣ウォーク
・二月二日 偕楽園を知るウォーク(二)
・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)

・すべて日曜日午前中の予定。

・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)
・十二月一日 水戸の晩秋をめぐるウォーク
・一月六日 水戸初詣ウォーク
・二月二日 偕楽園を知るウォーク(二)
・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)

・すべて日曜日午前中の予定。

・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)
・十二月一日 水戸の晩秋をめぐるウォーク
・一月六日 水戸初詣ウォーク
・二月二日 偕楽園を知るウォーク(二)
・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)

・すべて日曜日午前中の予定。

・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)
・十二月一日 水戸の晩秋をめぐるウォーク
・一月六日 水戸初詣ウォーク
・二月二日 偕楽園を知るウォーク(二)
・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)

・すべて日曜日午前中の予定。

・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)
・十二月一日 水戸の晩秋をめぐるウォーク
・一月六日 水戸初詣ウォーク
・二月二日 偕楽園を知るウォーク(二)
・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)

・すべて日曜日午前中の予定。

・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)
・十二月一日 水戸の晩秋をめぐるウォーク
・一月六日 水戸初詣ウォーク
・二月二日 偕楽園を知るウォーク(二)
・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)

・すべて日曜日午前中の予定。

・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)
・十二月一日 水戸の晩秋をめぐるウォーク
・一月六日 水戸初詣ウォーク
・二月二日 偕楽園を知るウォーク(二)
・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)

・すべて日曜日午前中の予定。

・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)
・十二月一日 水戸の晩秋をめぐるウォーク
・一月六日 水戸初詣ウォーク
・二月二日 偕楽園を知るウォーク(二)
・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)

・すべて日曜日午前中の予定。

・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)
・十二月一日 水戸の晩秋をめぐるウォーク
・一月六日 水戸初詣ウォーク
・二月二日 偕楽園を知るウォーク(二)
・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)

・すべて日曜日午前中の予定。

・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)
・十二月一日 水戸の晩秋をめぐるウォーク
・一月六日 水戸初詣ウォーク
・二月二日 偕楽園を知るウォーク(二)
・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)

・すべて日曜日午前中の予定。

・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)
・十二月一日 水戸の晩秋をめぐるウォーク
・一月六日 水戸初詣ウォーク
・二月二日 偕楽園を知るウォーク(二)
・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)

・すべて日曜日午前中の予定。

・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)
・十二月一日 水戸の晩秋をめぐるウォーク
・一月六日 水戸初詣ウォーク
・二月二日 偕楽園を知るウォーク(二)
・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)

・すべて日曜日午前中の予定。

・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)
・十二月一日 水戸の晩秋をめぐるウォーク
・一月六日 水戸初詣ウォーク
・二月二日 偕楽園を知るウォーク(二)
・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)

・すべて日曜日午前中の予定。

・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)
・十二月一日 水戸の晩秋をめぐるウォーク
・一月六日 水戸初詣ウォーク
・二月二日 偕楽園を知るウォーク(二)
・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)

・すべて日曜日午前中の予定。

・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)
・十二月一日 水戸の晩秋をめぐるウォーク
・一月六日 水戸初詣ウォーク
・二月二日 偕楽園を知るウォーク(二)
・三月一日 偕楽園を知るウォーク(三)